

その「こころ」は？

校長 堀岡 満喜子



ときどき次のような言葉を聞きます。

「心が大事なだから形はどうでも良い」

どうなのでしょう。「こころ」と「かたち」は、どのような関係にあるのでしょうか。

若い日に、池坊で花のいけ方を習っていました。いけ花にも基礎的な考え方や型があります。

まず、使う道具をきれいにしておくこと。花ばさみが錆びていないか、剣山はきれいか。それから、花をよく観察すること…などから始まり、立花、生花、自由花の分類の中で「型」のあるもの、比較的自由的なものなど、「型」と「いける心」との関係があるのです。

このように日本の「道」の中でも、あるいは西洋におけるマナーにおいても、「かたち」に表れる「こころ」があり、この両者の関係がいつも新鮮に問われてきました。

「女王のフィンガーボウル」という英国ヴィクトリア女王のマナーについてのエピソードがあります。女王がある国の貴族を招いて食事をしました。手を使って食べる料理が出された時、指を洗うフィンガーボウルも一緒に出されました。招待された貴族は文化の違いからそのフィンガーボウルの水を飲んでし

まったのです。それを見た女王は、同じようにフィンガーボウルの水を飲みました。それで相手が気まずい思いをせずに済んだという話です。

そもそもマナーとは、他者を気遣う気持ちを所作として形にしたものと言われます。相手を気遣う心を「かたち」にする。それがマナーだとすれば、フィンガーボウルの水で指を洗うか、飲むかの選択がその心を表すわけです。ヴィクトリア女王は、その後者を選びました。後できっと、招待客に対して、そっと誰かがフィンガーボウルの使い方を教えてくれたことでしょう。



英国ヴィクトリア女王の肖像画

学校でも、「かたち」に表す「こころ」があります。なぜ、礼拝で祈りや聖書朗読の間は扉の辺りで待つのか。なぜ、授業の前後に礼をするのか。なぜ、予鈴の時に次の授業の準備をして待つのか。なぜ…。なぜ…。その「かたち」には「こころ」があります。もし、「こころ」が失われているのなら、その「かたち」が問わなければなりません。

何となくその「かたち」が習慣になっているというのではなく、この「かたち」に息づいている「こころ」を脈打たせたい。ミッションでは、「かたち」を通して「こころ」を生きる。そんな生き方をしたいのです。

ところで、その「かたち」の「こころ」は何ですか？



軟式野球部

★金沢市中学校
新人大会
3位

バトントワリング部

★全日本バトントワリング選手権
北陸大会
【ダンストワール
ジュニアⅡ】 2位 2年 田窪 奈々花
【トゥーバトン女子
ジュニアⅡ】 7位 2年 東 はん那

英語

★高円宮杯全日本中学校
英語弁論大会
【石川県大会】 2位 3年 堀井 瑠偉
【全国大会】 7位 3年 堀井 瑠偉

陸上競技部

★北信越中学校総合競技大会
【男子共通110mH】 優勝! 3年 岡田 佳樹
★全日本中学校陸上競技選手権大会
【男子110mH】 出場 3年 岡田 佳樹
★金沢市中学校新人大会
【女子3000m競歩】 優勝! 2年 石塚 みのり
【女子共通走幅跳】 3位 2年 石塚 みのり

音楽

★日本バッハコンクール
【福井地区大会
中学A部門】 優秀賞 1年 福岡 美空
【富山地区大会
中学B部門】 優秀賞 2年 榎本 莉姫
★ピティナ・ピアノコンペティション
【北陸地区予選】 優秀賞 2年 榎本 莉姫

書道

★金沢地区納税についての作品展
優秀賞 2年 藤田 結香

弁論部

★金沢市中学生からのメッセージ
最優秀賞 3年 古屋 七花

太極拳

★東海・北陸ジュニア武術
太極拳競技大会
【男子南刀の部】 優勝! 3年 福岡 大知
【男子南拳の部】 2位 3年 福岡 大知

作文

★青少年読書感想文
全国コンクール 中学校の部
入選賞 3年 古瀬 ひなの
★石川県中学校
読書感想文コンクール
最優秀賞(石川県知事賞) 3年 古瀬 ひなの
★金沢市読書感想文コンクール
最優秀賞 3年 古瀬 ひなの
優秀賞 1年 川島 徳真



本校で毎年開催している演劇コンクールは、特に盛り上がりを見せる行事です。

今年の最優秀賞は3年生。宮部みゆき「チヨ子」を原作にしたオリジナル作品で、音源も自ら作成する徹底ぶりを魅せてくれました。他学年も楽しみながら演じ切りました。

INTERVIEW

2年
上田 桃子

私たちのクラスの今年の演劇は、台本づくりから始まりました。映画をもとに、一から台本を作るのは、とても大変でした。しかも、私は初めてのキャスト、更に主役ということで、不安もたくさんありました。ですが、たくさんの方が一緒に頑張ってくれて、そんな友達と一緒に一つの作品を創ることは本当に楽しかったです。練習のときには、「ここは、こうしたほうがいいんじゃない?」とお互いにたくさんの意見を出し合いました。また、小道具や、大道具、証明、音響、幕などの係の人も全員が演劇のために一生懸命で、毎日毎日、演劇のレベルが上っていくのを感じていました。

演劇コンクールの日、二年生の本番の前、私達は円陣を組みました。出来上がった40人の大きな輪は、とても思い出に残っています。本番が終わったあとは、皆が笑顔で、私は達成感と喜びでいっぱいでした。

やはり3年生の演劇は圧倒的で、それに勝る事はできませんでした。来年は今年よりももっと、観客を魅了させられるような劇をつくりたいです。



ミッション祭

テーマ▶みんなで学ぼうSDGs
9月2日(金)・3日(土)

私は、弁論部として「生物多様性」について発表を行いました。この弁論は、まだまだ幼い自分ながら深く考え、そして真剣に世界の問題に向き合ったとても印象深いものです。そのため今回は、話し方だけではなく弁論の内容についても評価してくださる方が多くいたことがとても嬉しく、何度も何度も考えたその時間はかけがえのないものだったんだと感じることができました。私の弁論を通じて、少しでも多くの人に世界が抱えている問題を知るきっかけになったのであれば幸いです。

今年のミッション祭のテーマは「みんなで学ぼうSDGs」でした。テーマであるSDGsを土台に廃材を利用した射的・わなげなど環境に優しいさまざまなゲームを企画、実行しました。

また今年は、二年ぶりに一般公開も行うことができました。その中の新しい活動として、レモネードスタンドを行いました。お店の設営から飾り付けまで全て生徒たちでアイデアを出し合い、多くの人にレモネードを飲んでもらえるよう工夫を施しました。レモネードは無事完売し、やりきったという達成感がありました。

この活動がミッション祭の新たな伝統になってほしいと願っています。

3年 古屋 七花



赤団 運動会 黒団

10/12(水)



僕は舐めてました。みんながもっと手伝ってくれるものだと思っていました。実際そんなに甘くなく、勝手に帰る人もたくさんいたのでとても苦労しました。今回の運動会は例年よりも時間がなく応援合戦の練習は運動会当日まで通せませんでした。ダンスもギリギリ、道具もギリギリ、競技のメンバーもギリギリで当日を迎えました。

当日は、いつもは練習に乗り気じゃない人も回関係なく全員で盛り上がりました。結果は負けてしまったけど、振り返ってみるともっと詰めれるところはたくさんあったなと思いました。部活では今年1勝もできなかったけどここでも勝てないかと思いました。喧嘩とかもあったけど楽しかったです。最初はいいやや団長をやっていたけど、やりきると達成感があってやって良かったなと思いました。

団長 3年 渡辺 大次

運動会の準備で最も大変だったことは、応援のダンスの予定を組むことです。私は前年度などに、放課後に強制でダンス練習をするのが嫌で、団員にも強制的にダンス練習をさせたくないという思いがありました。さらに今回の運動会は様々な予定が遅れを取っており、かなり予定がキツキツの状態でした。ですが、団員の協力もあり、放課後に練習しなくてもダンスをかなり良い状態にすることができました。

運動会当日、私はかなり楽しめました。優勝もできました。しかし今回の運動会で優勝をしたのは、私だけでは力不足でした。副団長の協力がなければ運動会での優勝はなかったでしょう。そのため私は副団長、及び団員全員に感謝しています。

団長 3年 上野 卓也



3年 沖縄 修学旅行

10/24(月)~28(金)

私は今回初めて「民泊」体験をしました。一緒にご飯を作ったり、沖縄と石川の違いを話したり、展望台から美しい景色を見たり、想像を超える楽しさでした。私の滞在した家には81歳のユキちゃんがいる、戦争体験者でした。ユキちゃんの話聞き、泊まっている家のすぐ近くで恐ろしい悲劇が起こっていたと思うと何とも言えない気持ちになり、その思いを忘れないでいようと思いました。

一番楽しかったのは国際通りでの自由時間とパフォーマンス付きステーキの夕食ですが、心に残っているのは平和祈念公園・資料館です。平和の礎に刻まれた名前を見て、本当に多くの人が亡くなったのだと実感しました。すぐ横の崖が、逃げ場を失った人々が飛び降りた崖だと知ったときは信じられません。今まである程度のことでは知っていたはずなのに、他人事のように考えていたなと感じました。戦争を経験した人や沖縄の人の気持ちが全てとは絶対に言えませんが、分かった気がしました。

3年 橋本 彩乃



1日目	小松空港→那覇空港 ● 1泊2日の民家生活体験
2日目	● 平和祈念公園 ● 国際通り自主研修
3日目	● フィールドワーク 嘉数高台公園、佐真下公園 道の駅かでなを訪問 ● 体験王国「むら咲むら」 琉球文化を体験 ● 読谷教会 牧師先生からの沖縄戦の講話 チビチリガマ・シムクガマ見学 世界遺産「座喜味城跡」散策
4日目	● 世界遺産「やんばる」 マングローブの自然観察 カヌー体験 ● 美ら海水族館
5日目	● 首里城公園 那覇空港→小松空港

短期海外研修

8/3(水)-18(木)

希望者向けの短期海外研修を実施し、8月の約2週間アメリカ・ペンシルバニアを訪問しました。



Let's go!

飛行機に乗り、アメリカへ出発



アメリカ建国の地

フィラデルフィア観光
(独立記念館、リパティベル、ベンジャミン・フランクリン博物館など)



2泊3日のホームステイ生活



休日は近隣の州へ日帰り旅行に行ったり、郷土料理を作ったり!

Schedule



5泊6日のハイポイントバプテストアカデミー・キャンプ

クリスチャンスクール訪問



ペンシルバニアの州都

ハリスバーグ観光



(ペンシルバニア州会議事堂、サスケハナ川など)

私は夏休みに初めてアメリカのペンシルバニア州に2週間の短期留学に行きました。短期留学に行ってみたと思ったきっかけは幼い頃から英語が好きなので、海外で英語を勉強したいと思ったからです。アメリカではホームステイやサマーキャンプを体験しました。最初は「初めてだけど話せるだろうから大丈夫」と思っていたのですが、いざアメリカに来てみるといつも日本で話していた英語を話すことができずとても苦戦しました。しかし日々過ごす中で、仲間に助けってもらいながら、緊張せずに話せるようになりました。あつという間の2週間でしたが、とても充実した日々を送ることができました。次はもっと長く滞在し、英語力を高めたいです。

2年 谷屋 希羽



宗教委員会活動

宗教委員会では、毎年さまざまな宗教行事の運営をしています。今年度も中学校全体が協力しさまざまな行事をよいものにしてきました。

6月には花の日礼拝を守りました。それぞれの生徒が花を持ち寄り、神様からの自然の恵みや、私たちを元気に育ててくださることに感謝しました。持ち寄った花は一人ひとりが好きなものを選んで持ち帰り、それぞれの家庭でも神様からの恵みを分かち合うことができました。

10月には収穫感謝礼拝を守りました。昨年度に引き続き今年度も果物ではなく缶詰やレトルト食品を持ち寄りました。集まった食品は、こだつのクローバーや梅光児童園など近隣の施設に届けられ、たくさんの方々と神様からの恵みに感謝しました。

12月にはクリスマス礼拝を守りました。クリスマス礼拝では中高ともにページェントが行われ、生徒全員でクリスマスを喜ぶときを持ちました。また、今年度は3年ぶりに市民クリスマスが行われ、一般の方々とクリスマスの喜びを分かち合うことができました。

今年度はコロナウイルスの影響で数年間でできなかった行事の一部を再開することができました。次年度はさらにできることを増やしながらかつ活動を行っていければと思います。

3年 三田 美波穂

